

「名古屋城本丸御殿復元工事 現場見学会」事業報告書

- 【日時】 平成24年11月3日(土) 9:00~16:00
- 【場所】 名古屋市中区本丸1-1 名古屋城
- 【来場者数】 名古屋城全体 10,173人 (現場見学会 2,878人)
- 【内容】 来年5月29日に第1期工事分の玄関、表書院が公開となる名古屋城本丸御殿の工事の現場見学会が開催され、出展協力しました。
- 当日は好天にも恵まれ、また来年5月の一般公開までは工事現場に立ち入ることができないこともあり、開門の9時から大勢の来場者で賑わい、順番を待つ長い行列ができる程でした。
- 城内ではこの他にも名古屋城特別展「将軍の愛した障壁画 二条城二の丸御殿と名古屋城本丸御殿」「菊花展」「名古屋城武将隊5周年」「茶会」のイベントも催され、相乗効果を図っていました。
- 工事現場のすぐ横には柿板の釘打ちや壁土塗り、カンナ掛けの体験コーナーが設置され、実際作業に当たっている職人さんが手解きをして体験を実施していました。その他にも甲冑の試着や協賛企業の煎餅焼き体験など多くの体験コーナーも出展し、甲冑を試着した若いグループや子供さん、外国人観光客などは名古屋城をバックに盛んにポーズをとり記念写真を撮っていました。
- 木曽地域では「木曾ひのき箸作り体験」や特産品販売を行い、イベントを盛り上げ協力すると共に、季刊誌「木曽路」やパンフレットによる観光誘客に努めました。実りの秋ということもあり、新そばを中心とした特産品の販売は好調で、隣の中津川市のブースでも「栗きんとん」が完売していました。【売上：90,000円】また、紅葉のトップシーズンということもあり季刊誌やパンフレットを手にとってご覧になる方も多く、中には「明日、赤沢に行く」とか、「先日妻籠に行って来た」などと声を掛けて下さる方も多く、木曽路の紅葉の美しさが中京圏でも定着していることが分かりました。
- 「木曾ひのき箸作り体験」は、子供や若いグループを中心に体験される方が殆どでしたが、お父さんが大工さんで、毎日名古屋城本丸御殿の建設現場で働いているご家族も皆さんで体験され、お父さんは本職ということもあり5分程で箸を仕上げ、家族から尊敬の眼差しを浴びていました。【木工体験：11人】
- 来年5月には一般公開を記念したイベントも検討されているとのことで、平成の名古屋市民の森づくり事業と併せ協力し、交流の促進、連携を図って参ります。





現場見学会の様子①



現場見学会の様子②

匠体験の様子

